

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラムについて

平成 15 年 3 月 28 日
科学技術政策担当大臣
総合科学技術会議有識者議員

1. 趣旨

- ・ 科学技術の急激な発展及び経済社会のグローバル化の進展
地球温暖化、クローン人間等の生命倫理問題、知的財産権の保護範囲の問題等一国のみでは解決困難で、国際規模で解決する必要のある問題の発生。
- ・ 科学技術の経済社会への浸透
専門家である科学者だけでなく、政治家、企業家等社会の様々なグループが科学技術の問題を議論する時代。



人類の英知を結集して、科学技術を社会と調和させつつ適切に発展させていくため、世界各国から科学者、政治家、企業家、ジャーナリスト等が一堂に会して、科学技術と人類の未来について議論、意見交換する場を設定。

2. フォーラムの概要等

(1) 日時・場所・形式

- ・ 日時：平成 16 年 9 月上旬（2 日間程度）
- ・ 場所：京都
- ・ 形式：全体会議と分科会方式により参加者が意見交換。

(2) テーマ

- ・ フォーラムでの議論を踏まえて関係各国が具体的なアクション（国際ルール作り等）を起こすようなテーマを想定。
 - ・ 分科会で議論するテーマ数：5～6を想定。
 - ・ 具体例（今後、国内外の有識者の意見を聴取して最終的に決定。）
 - 科学技術と社会（科学技術教育等）
 - 科学技術と倫理（クローン人間等の生命倫理等）
 - 科学技術と環境（持続的な成長への科学技術の貢献等）
- 等

(3) 参加者・参加国

- ・ 科学者、政治家、企業家、行政官、教育者、ジャーナリスト等
- ・ 先進国の他、発展途上国を含めた幅広い参加を想定。

(4) 運営組織等

- ・ フォーラムを主催し、具体的な内容等を決定する実行委員会（参加国の科学技術に関する有識者から構成。）
- ・ 決定された事項を実施する事務局
- ・ 総合科学技術会議は本フォーラムの開催を支援。